

平成26年度指定研究の概要

本庁又は出先機関が定める指針などにより実施する研究です。

本年度は、政策局 総合政策部 科学技術政策課「神奈川地域資源活用研究事業」1課題、「神奈川重点実用化研究事業」1課題を実施しています。

神奈川重点実用化研究事業

1	大森清美	理化学部 食品化学G	神奈川県発の発がん性予測試験法の国際標準化に向けた網羅的生化学データベースの構築 神奈川県が開発した「Bhas42細胞形質転換試験法」は、化学物質の発がん性を予測するための国際標準試験法(OECDテストガイドライン)として、国際認定に向けた審議が行なわれている。本試験法における細胞のがん化のしくみを明らかにするために、遺伝子の網羅的かつ詳細な解析を行い、試験法の有用性を裏付けることにより、「Bhas42細胞形質転換試験法」のOECDテストガイドライン化への推進力とする。
---	------	---------------	---

神奈川地域資源活用研究事業

No.	研究員	所属	研究課題(概要)
1	大屋日登美	微生物部 細菌・環境生物G	肺炎マイコプラズマの薬剤耐性化および菌型との関連性の検討 マイコプラズマ感染症治療用のクロライド系(MLs)薬剤に対する耐性菌が、神奈川県内で分離されその後増加している。このような中、MLs薬剤に代わって使用されるニューキノロン(FQ)薬剤に対する耐性菌の出現が懸念されている。そこで、FQ薬剤に対する耐性化の可能性とその機構の解析などを行う。

未病研究事業

No.	研究員	所属	研究課題(概要)
1	秋山晴代	理化学部 薬事毒性・食品機能G	未病に関与するターゲット因子探索と県内産食品等による生活習慣病予防の検討 未病とは、生体内で小規模な炎症が起こりつつある状態と考えられる。生活習慣病の予防・治療法を考える上で、未病期に変動し、かつ炎症を誘導する因子群等を解明できれば、それらを抑制もしくは改善する治療法開発につなげることができると判断し、未病に関与するターゲット因子探索と県内産食品等による生活習慣病予防の検討を目指す。